

行政視察報告書

参加議員	山本武朝、渡部伸広、軽米智雅子、工藤夕介
調査期間	令和8年5月6日（水）～令和8年5月8日（金）
調査先 及び 調査事項	①岡山市 岡山理科大学生物生産教育研究センター 好適環境水による陸上養殖について ②新居浜市 新居浜市教育委員会事務局発達支援課 発達支援について

視 察 概 要	
■ 調査先①	岡山理科大学生物生産教育研究センター
■ 調査事項	好適環境水による陸上養殖について
■ 調査内容	＜調査期日＞ 令和8年5月7日（木）9時30分から ＜調査目的＞ 海水を用いない好適環境水による陸上養殖研究の取組と、好適環境水による陸上養殖の実用化について学ぶため ＜調査先対応者＞ 山本 俊政 岡山理科大学准教授（好適環境水研究者） 津村 誠一 岡山理科大学招聘教授 白神 潤一 岡山理科大学広報部参与 ＜調査先の説明内容、質疑応答、所見など＞ ・好適環境水についての説明 ・好適環境水による陸上養殖についての説明 ・好適環境水による陸上養殖魚種のビジネス展開について実例紹介 国内各地で海水の高水温被害が顕著に見られ、水産業の将来に深刻な不安を与えていることを受け、今後、好適環境水による陸上養殖が国内及び青森の水産業の主力として、実用化できるかどうかなど、山本准教授と質疑応答を行った。 近年の海水温上昇が今後も続く限り、好適環境水による陸上養殖は今後、国内水産業の主力になりうると感じた。 また、研究室の学生さんも、山本准教授とともに熱心に研究に取り組んでおられ、将来の取組にも大きな期待が持てると確信した。

視 察 概 要

■ 調査先② 新居浜市 教育委員会事務局発達支援課

■ 調査事項 発達支援について

■ 調査内容

＜調査期日＞ 令和８年５月８日（金）９時３０分から

＜調査目的＞

2019 年に通常学級で発達課題のある児童への対応が問題となったことを機に開始した発達支援についての取組を学ぶため

＜調査先対応者＞

佐々木 正子 新居浜市 教育委員会事務局 発達支援課 課長

堀口 美穂 新居浜市 教育委員会事務局 発達支援課 副課長

田中 康一郎 新居浜市 教育委員会事務局 発達支援課 担当係長

林 玲奈 新居浜市議会事務局 議事課 主事

＜調査先の説明内容、質疑応答、所見など＞

・新居浜市で取り組む発達支援の概要

同市の発達支援についての事業実績（教育相談、巡回相談、早期療育通園相談事業、5 歳児就学相談、特別支援教育支援員の配置、サポートファイル、各種専門相談、各種研修会・講演会、新居浜市地域発達支援協議会の各取組について）

・同市の発達支援についての懸案事項について

新居浜市の発達支援における学校支援員、学校生活介助員の人員確保などをどのように行っているかなど、質疑応答を行った。

新居浜市発達支援課の課長が保健師、係長が臨床心理士、早期療育指導員が教員であるなど、職員の専門性も活かせる体制となっている。同課が関係機関・部署と活発に連携し、支援事業の定着化を図るだけでなく、新たな取組も取り入れるなど、積極的な姿勢も感じた。

本市としても大いに参考となる取組であると確信している。